

記録区分番号：EMW630012

作成日：2017年6月15日



2016年度  
環境活動レポート  
(2016年4月1日～2017年3月31日)



白山商事株式会社

ISO14001認証・登録番号 0001382

# 環境方針

## 環境理念

白山商事株式会社は、地球環境問題への取組が当社の果たすべき重要課題と認識し、全ての事業活動を通じて環境への負荷を軽減することに努め、社会に貢献します。

## 行動方針

1. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、以下の環境目的を定めて全構成員で環境保全活動を推進します。
  - (1) 二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 廃棄物排出量の抑制
  - (3) 節水
  - (4) グリーン購入の促進
2. 環境に優しい商品の販売を促進します。
3. 環境保全活動を推進するために、環境マネジメントシステムを構築し、このシステムを定期的に見直し、継続的改善に努める。
4. 環境関連法規制及び契約を遵守します。
5. 全従業員に環境方針を周知徹底し、継続的に環境教育を実施することにより環境保全意識の向上に努めます。
6. 地域社会の一員として、環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

2003年6月1日(制定)

2013年7月1日(改定)

白山商事株式会社  
代表取締役社長 山本廣明

# 目 次

1	当社の概要	<hr/>
2	環境活動組織図	<hr/>
3	環境活動の責任と権限	<hr/>
4	環境目標及び達成	<hr/>
4-1	目標達成状況（2016年度）	<hr/>
4-2	直近3年間達成状況の推移（2014年度～2016年度）	<hr/>
4-3	中期目標値（2016年度～2018年度）	<hr/>
5	2016年度 環境目標達成のための活動	<hr/>
6	2016年度環境活動の取組結果と評価	<hr/>
6-1	目標達成の結果と評価	<hr/>
6-2	その他の取組状況	<hr/>
7	2016年度 環境活動の取組内容	<hr/>
8	関連法令法規への違反の有無	<hr/>
9	訴訟等の有無	<hr/>
10	代表者による全体評価と見直し結果	<hr/>
付	環境配慮型商品の紹介	<hr/>

## 1 当社の概要

事業者名：白山商事株式会社

URL:<http://www.hakusanshoji.co.jp>

所在地：（本社）東京都豊島区南池袋1丁目10番13号荒井ビル6階

（物流センター）東京都品川区勝島1丁目4番11号東京倉庫(株)勝島倉庫317号棟

代表者：山本 廣明／代表取締役社長

環境管理責任者：八代 健司／営業本部 特機営業部長

環境担当者：森田 義和／総務部長（環境委員会事務局）

連絡先：電話番号（03）5958-9411

FAX 番号（03）5958-9415

E-mail：morita@hakusanshoji.co.jp

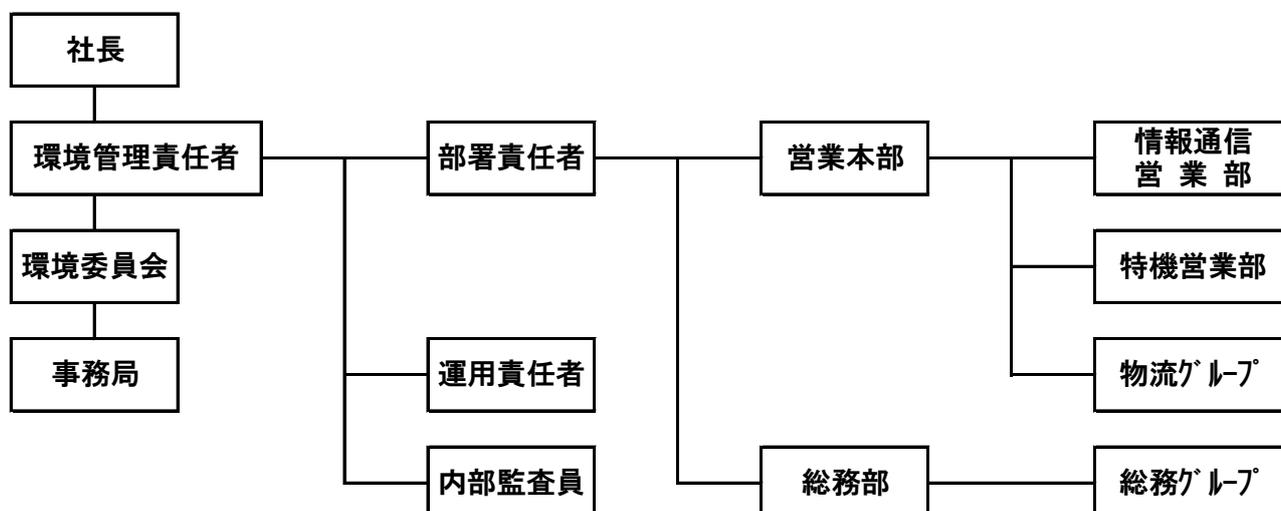
事業内容：通信機器類・金属接合機等の販売

### 事業規模

事業年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高（百万円）	1,270	1,207	1,193
従業員数	21	22	23
・本社	19	20	21
・物流センター	2	2	2
延床面積（m <sup>2</sup> ）	385	420	420
・本社	164	195	195
・物流センター	225	225	225

（注）当社は3月決算。2016年度は「2016年4月1日から2017年3月31日」まで。

## 2 環境活動組織図



### 3 環境活動の責任と権限

社長	① 環境マネジメントシステムの最高責任者
	② 環境方針の決定
	③ 環境管理マニュアルの承認
	④ 環境管理責任者の任命
	⑤ 環境委員会の委員を任命
	⑥ 環境マネジメントシステムの評価と見直し
環境管理 責任者	① 環境マネジメントシステムの確立、運用、維持及び改善
	② 環境管理マニュアルの審議
	③ 「環境への負荷の自己チェック」及び「環境への取組の自己チェック」リスト作成
	④ 環境活動レポート作成
	⑤ 「環境活動計画表」の承認
	⑥ 環境目標達成状況の承認及び不適合扱いの決定
	⑦ 教育訓練計画及び結果の承認
	⑧ 内部監査計画及び監査結果の承認
	⑨ 内部監査員の任命
	⑩ 環境経営システムの評価用資料の作成と社長への報告
	⑪ 手順書の承認
部署責任者	① 部署内への環境マネジメント活動の周知
運用責任者 (共通)	① 目的・目標の達成手段の立案
	② 目的・目標の周知と徹底
	③ 環境活動計画の作成
	④ 四半期ごとの達成状況について環境管理責任者に報告
	⑤ 教育訓練の実施と報告
	⑥ 不適合の是正処置についての立案・実施・報告
環境委員会	① 環境マネジメントシステムに関する基本計画の策定
	② 環境管理マニュアルの制定・改訂の審議
	③ 環境負荷の特定
	④ 環境目標の設定
	⑤ 環境活動計画表の審議
	⑥ 環境目標の達成状況についての審議
	⑦ 教育訓練計画の審議と教育担当者の決定
	⑧ 環境活動レポートの審議
	⑨ 内部監査報告書の審議
	⑩ 運用責任者の決定
	⑪ 環境マネジメントシステム見直し評価の社長指示を受け、具体策の審議
事務局	① 環境文書及び環境記録の保存
	② 公開すべき環境文書及び環境記録のHAKUSAN-NET（社内用Web）への掲載
	③ 環境委員会議事録の作成・保管
内部監査員	① 内部監査を実施し、結果を的確に評価し、環境管理責任者に報告
	② 監査事項のための被監査対象への必要な資料提供及び説明の請求
構成員	① 環境に関する業務の実行

## 4 環境目標及び達成

### 4-1 目標達成状況（2016年度）

項 目		目 標	実 績	達成率
二酸化炭素 排 出 量	本社	22,200	19,013	117%
	物流とび	3,200	2,947	109%
	電気使用量 kwh/年	25,400	21,960	116%
	二酸化炭素 kg-CO <sub>2</sub> /年	12,700	10,980	116%
廃 棄 物 排 出 量	本社	98.0	97.0	101%
	物流とび	50.0	45.8	109%
	可燃ごみ kg/年	148.0	142.8	104%
	本社	14.4	13.8	104%
	物流とび	20.0	15.0	133%
	不燃ごみ kg/年	34.4	28.8	119%
水使用量	水使用量 m <sup>3</sup> /年	15.0	11.0	136%
グリーン購入	事務用消耗品購入額比 %	70.5	74.6	106%
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	50,000	43,720	87%
紙使用量削減	北 <sup>°</sup> -用紙使用量 kg/年	231	211	109%
	段ボール使用量 kg/年	299	252	119%

※1) 達成率＝目標／実績

※2) 二酸化炭素・実排出係数は「2016.8 東京電力I<sup>°</sup>が<sup>°</sup>ハ<sup>°</sup>ト<sup>°</sup>ナ<sup>°</sup>報告：”0.50（t-CO<sub>2</sub>/kWh）”」を使用

#### 【目標設定の根拠】

- ・二酸化炭素排出量は、前年度に本社事務所移転を行った後「移転後初めての通年目標」となった。目標値は、本社分に限り前年度比128%で策定した（移転後に新事務所でサブリンクしたデータに基づいた）。
- ・廃棄物排出量については、前年度に実績が従来より増加したものの、原因が事務所移転時の引越しによるものであったため、2016年度目標値は従来と同じレベルで策定を行った。
- ・その他の項目（水使用量、グリーン購入、環境配慮商品販売促進、紙使用量）は、従来目標レベルを維持した。

#### 【実績】

- ・二酸化炭素排出量（電気使用量）、廃棄物排出量（可燃ごみ、不燃ごみ）、水使用量、及びグリーン購入比率は、目標を達成した。
- ・紙の使用量は、昨年度北<sup>°</sup>-用紙使用量が目標未達だったが2016年度は目標値を下回ることが出来、段ボール使用量と共に目標を達成した。
- ・環境に優しい商品の販売販売促進は、昨年度に引き続き2016年度も販売が振るわず目標未達だった。

## 4-2 直近3年間達成状況の推移（2014～2016年度）

項 目		2014年度			2015年度			今年度（2016年度）		
		計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
二酸化炭素 排 出 量	本社	20,000	18,088	111%	20,700	18,199	114%	22,200	19,013	117%
	物流ﾄﾝﾀﾞ	3,970	2,916	136%	3,200	3,112	103%	3,200	2,947	109%
	電氣使用量 kwh/年	23,970	21,004	114%	23,900	21,311	112%	25,400	21,960	116%
	二酸化炭素 kg-CO <sub>2</sub> /年	11,985	10,502	114%	11,950	10,656	112%	12,700	10,980	116%
廃 棄 物 排 出 量	本社	98.0	98.0	100%	130.0	128.5	101%	98.0	97.0	101%
	物流ﾄﾝﾀﾞ	50.0	43.0	116%	50.0	39.4	127%	50.0	45.8	109%
	可燃ごみ kg/年	148.0	141.0	105%	180.0	167.9	107%	148.0	142.8	104%
	本社	15.0	13.1	115%	17.7	17.4	102%	14.4	13.8	104%
	物流ﾄﾝﾀﾞ	25.0	21.4	117%	25.0	11.6	216%	20.0	15.0	133%
	不燃ごみ kg/年	40.0	34.5	116%	42.7	29.0	147%	34.4	28.8	119%
水使用量	水使用量 m <sup>3</sup> /年	15.0	12.0	125%	15.0	12.0	125%	15.0	11.0	136%
ｸﾞﾘｰﾝ購入	事務用消耗品購入額比 %	70.0	74.4	94%	70.5	81.1	115%	70.5	74.6	106%
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円 (2014年度は%)	6.0	3.8	63%	49,000	46,437	95%	50,000	43,720	87%
紙使用量削減	正用紙使用量 kg/年	212.0	209.6	101%	212	252	84%	231	211	109%
	段ボール使用量 kg/年	313.0	181.6	172%	306	286	107%	299	252	119%

※1) 二酸化炭素・実排出係数は「2016.8 東京電力ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ-ﾄﾞｰﾀﾞ-報告 : ” 0.50 ( t-CO<sub>2</sub>/kWh) ”」を使用

※2) 環境商品は、2014年度以前は販売額ではなく「売上比率（対全社販売額）⇒%」にて目標/実績を管理

#### 4-3 中期目標値（2017年度～2019年度）

項 目		今年度実績	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素 排 出 量	本社	19,013	20,000	20,000	20,000
	物流ﾁﾀﾞ	2,947	3,200	3,200	3,200
	電気使用量 kwh/年	21,960	23,200	23,200	23,200
	二酸化炭素 kg-CO <sub>2</sub> /年	10,980	11,600	11,600	11,600
廃 棄 物 排 出 量	本社	97.0	98.0	98.0	98.0
	物流ﾁﾀﾞ	45.8	50.0	50.0	50.0
	可燃ごみ kg/年	142.8	148.0	148.0	148.0
	本社	13.8	14.4	14.4	14.4
	物流ﾁﾀﾞ	15.0	20.0	20.0	20.0
	不燃ごみ kg/年	28.8	34.4	34.4	34.4
水使用量	水使用量 m <sup>3</sup> /年	11.0	15.0	15.0	15.0
グリーン購入	事務用消耗品購入額比 %	74.6	71.0	71.5	72.0
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	43,720	51,000	52,000	53,000
紙使用量削減	北 <sup>°</sup> -用紙使用量 kg/年	211	231	231	231
	段ﾎﾞｰﾙ使用量 kg/年	252	293	287	281

- ① 二酸化炭素排出量⇒電気使用量は、本社事務所移転後の通年のﾃﾞｰﾀを昨年度取得できたため、その結果に基づき策定した（本社）。
- ② 廃棄物排出量は、昨年度実績をﾍﾞｰｽに策定した。
- ③ 水使用量は、15.0m<sup>3</sup>の維持継続とした。
- ④ グリーン購入は、昨年度立案の中期目標（毎年0.5%ｱｯﾌﾟ）を維持した。
- ⑤ 環境に優しい商品の販売促進は、目標未達が続いているものの積極的な活動となる重要ﾃｰﾏのため、昨年度立案した中期目標（毎年100万円づつｱｯﾌﾟ）を維持とした。
- ⑥-1 紙使用量削減・北<sup>°</sup>-用紙は、目標値維持とした。
- ⑥-2 紙使用量削減・段ﾎﾞｰﾙは、前年度目標（6kgづつ削減）維持で策定した。

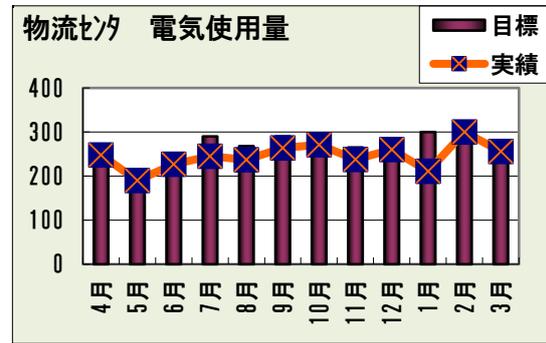
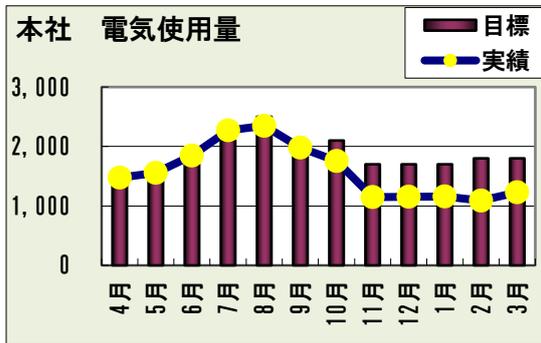
## 5 2016年度実施した環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	<p>IT設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃を基本とする</p> <p>冷房使用は、原則就業時間内とする</p> <p>昼休み時間、照明消灯の励行</p> <p>OA機器未使用時電源OFF励行（本社）</p> <p>クールビズ、ウォームビズの実施</p> <p>残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF</p>
廃棄物 排出量削減	可燃ごみ排出量の削減	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールの厳守・徹底</p>
	不燃ごみ排出量の削減	<p>飲料缶、ペットボトルの社内排出禁止</p> <p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールの厳守・徹底</p> <p>梱包材料の再利用化</p>
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールの厳守・徹底</p>
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底
グリーン購入	グリーン購入の促進	グリーン対象品かどうか事前確認し手配
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	<p>HPの積極的活用</p> <p>環境商品販売品目を増やす</p>
紙使用量削減	紙-用紙使用量の削減	<p>社内伝達書類のメール化の徹底</p> <p>試し印刷時の裏紙使用の徹底</p> <p>期限切れ保管書類の再利用の徹底</p> <p>※A4・A3を対象に管理</p>
	段ボール箱使用量の削減	<p>段ボール箱の再利用</p> <p>簡易包装の徹底</p> <p>毎月使用量を公表し、使用量を意識する</p> <p>商品にあった箱かどうかを確認しあう</p>

## 6 2016年度 環境活動の取組結果と評価

### 6-1 目標達成の結果と評価

#### 【1】 二酸化炭素排出量の削減 ⇒ 電気使用量の削減



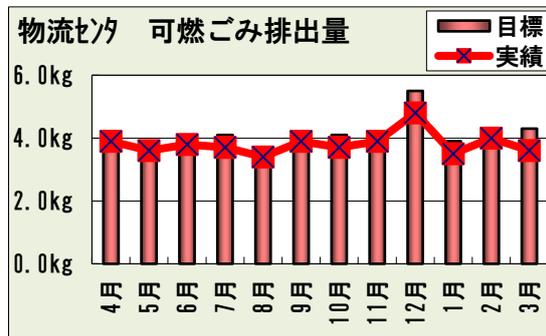
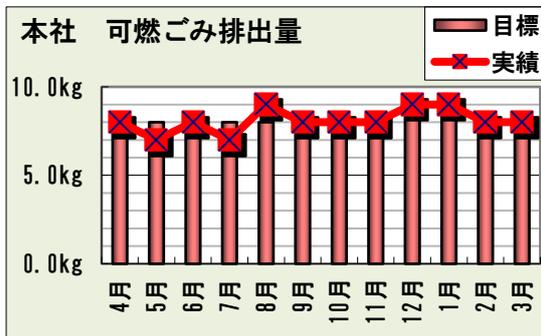
2016年度目標	2016年度実績
22,200 kWh	19,013 kWh
11,100 kg-CO <sub>2</sub>	9,507 kg-CO <sub>2</sub>
達成率 117 %	

2016年度目標	2016年度実績
3,200 kWh	2,947 Wh
1,600 kg-CO <sub>2</sub>	1,474 kg-CO <sub>2</sub>
達成率 109 %	

#### 【評価】

本社事務所移転後、新ビルでの年間実績は上記の通りだった。夏季ITJ使用時は予測通りだったが、冬季のITJ使用期間中の電気量は目標を大きく下回った。新ビルは冬暖かい建物による結果と分析する(⇒2017年度はこの結果に基づき目標値を設定した)。センターは建物環境に変化なくとも目標を達成しており、節電意識が徹底されていると判断する。

#### 【2-1】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 可燃ごみ排出量の削減



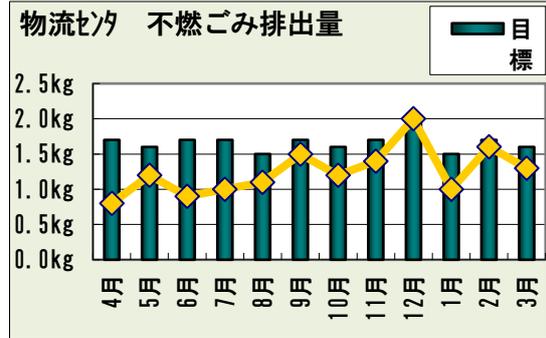
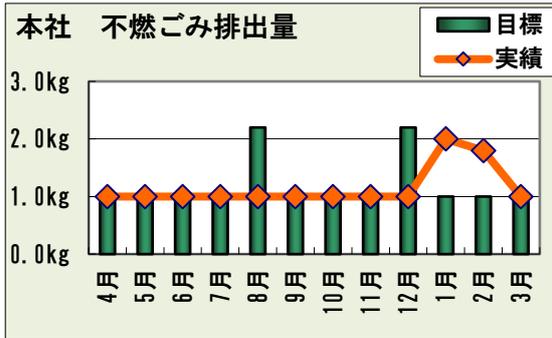
2016年度目標	2016年度実績
98 kg	97 kg
達成率 101 %	

2016年度目標	2016年度実績
50 kg	45.8 kg
達成率 109 %	

#### 【評価】

本社、センター共に目標値を達成した。分別(紙・用紙、段ボール再利用等)意識が浸透していると判断する。

【2-2】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 不燃ごみ排出量の削減



2016年度目標	2016年度実績
14.4 kg	13.8 kg
達成率 104 %	

2016年度目標	2016年度実績
20 kg	15.0 kg
達成率 133 %	

【評価】

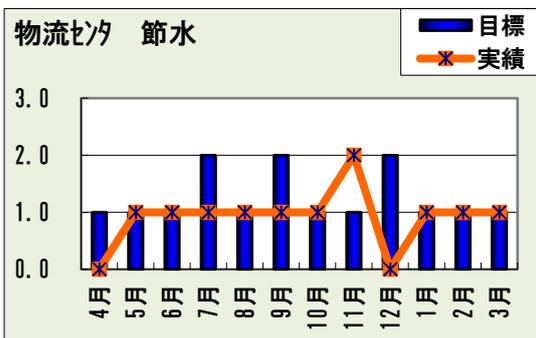
本社、セクタ共に目標値を達成した。分別（ペットボトル、飲料缶の社内排出禁止）が徹底され、排出量が抑えられたと判断する。

【2-3】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 資源ごみ指定物100%回収

【評価】

全社でルールが守られ、指定資源ごみは100%の回収（再利用化含む）を達成した。

【3】 水使用量の削減

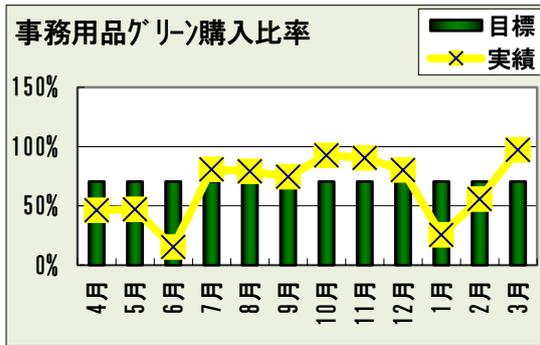


2016年度目標	2016年度実績
15 m <sup>3</sup>	11 m <sup>3</sup>
達成率 136 %	

【評価】

意識向上、節水方法定着により、目標を達成した。

【4】グリーン購入の推進

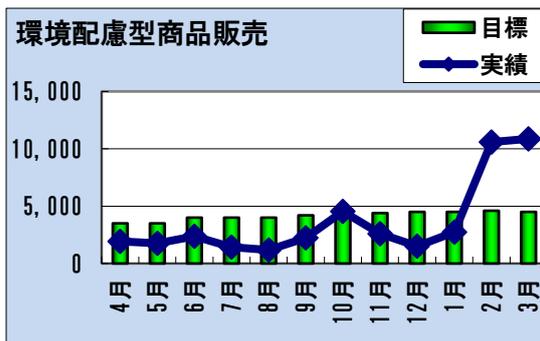


2016年度目標	2016年度実績
70.5 %	74.6 %
達成率 106 %	

【評価】

グリーン以外の事務用品を購入せざるを得ない時もあり、月々バラバラの結果だったが、トータルでは目標値を達成した。日常的にグリーン対象かどうかの確認を行う等、着実な積み上げが必要となっている。

【5】環境に優しい商品の販売促進



2016年度目標	2016年度実績
50,000千円	43,720千円
達成率 87 %	

【評価】

販売不振により目標未達となった。第4四半期で新規に対象とした商品を売上げて積み上げたものの達成には至らなかった。2017年度以降も、対象商材の品目増に努める必要がある。

【6-1】省資源紙使用量の削減 ⇒ 北°-用紙使用量の削減

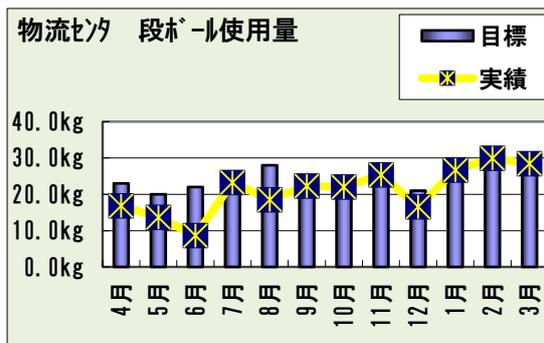


2016年度目標	2016年度実績
231 kg	211 kg
達成率 109 %	

【評価】

年度中盤に目標値を超えてしまったが、後半に「裏紙印刷」の徹底を図り年間目標を達成させた。

【6-2】省資源紙使用量の削減 ⇒ 段ボール使用量の削減



2016年度目標	2016年度実績
299 kg	252 kg
達成率 119 %	

【評価】

使用済み段ボールの効率的な再利用、簡易包装（紙製袋）の活用を徹底し、年間目標を達成した。

6-2 その他の取組状況

【出荷用トラックからの二酸化炭素排出量削減】  
運送委託業者への指導事項は昨年同様実施した、今後も引き続き監視を行う。

運送委託業者のトラックの【窒素酸化物および粒子状物質（NO<sub>x</sub>）のPM基準】  
遵守されていることを確認した。今後も引き続き監視を行う。

7 2017年度実施する環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	<p>基本的なエアコン設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃とする</p> <p>エアコンの使用は、原則就業時間内とする</p> <p>昼休み時間、照明消灯の励行</p> <p>OA機器未使用時電源OFF励行（本社）</p> <p>クールビズ、ウォームビズの実施</p> <p>残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF</p>
廃棄物 排出量削減	可燃ごみ排出量の削減	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールの厳守・徹底</p>
	不燃ごみ排出量の削減	<p>飲料缶、ペットボトルの社内排出禁止</p> <p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールを厳守・徹底</p> <p>梱包材料の再利用化</p>
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルールを厳守・徹底</p>
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底
グリーン購入	グリーン購入の促進	事務用消耗品（グリーン購入対象品）のリスト化
		グリーン対象品があるかどうかの事前確認の実施
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	<p>HPの積極的活用</p> <p>環境商品販売品目を増やす</p> <p>全員による積極的PRの実施</p>
紙使用量削減	紙-用紙使用量の削減	<p>社内伝達書類のメール化の徹底</p> <p>試し印刷時の裏紙使用の徹底</p> <p>期限切れ保管書類の再利用の徹底</p> <p>※A4・A3を対象に管理</p>
	段ボール箱使用量の削減	<p>段ボール箱の再利用</p> <p>簡易包装の徹底</p> <p>毎月使用量を公表し、使用量を意識する</p> <p>商品サイズに合わせた包装</p>

## 8 関連法規への違反の有無

- ・ 当社の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、遵守しております。

法令法規等名称	遵守状況 (確認済：○)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB廃棄物特措法）	○
品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例	○
豊島区廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	○
特定家庭用機器再商品化法	○
消防法	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	○

## 9 訴訟等の有無

関係機関からの違反等の指摘はなかった。

## 10 代表者による全体評価と見直し結果、及び今後の活動方針

総合的に見て今期は目標を達成することが出来ました。しかし目標に掲げました環境に優しい商品の販売は目標を若干下回りました。今後は新たな商品を加えて目標達成に向けて活動してまいります。

当社は平成28年度登録10年継続の表彰状をいただきました。今後もエコアクション21の活動を通して微力ながら社会に貢献してまいります。

平成29年3月  
代表取締役社長 山本 廣明

弊社の環境活動レポートをご覧くださいましてありがとうございます。  
環境レポートにも報告しておりますように、弊社では「環境に優しい商品」の販売に努めております。その対象としております商品について、以下に紹介させていただきます。

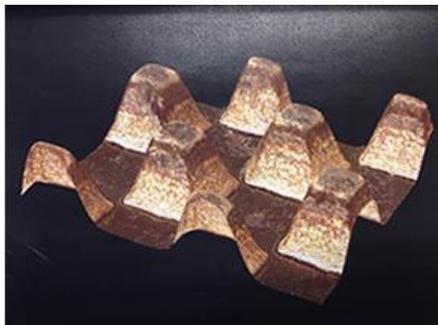
## ① ホジボックス（PCB保管箱）

ホジボックスは、特別措置法で規制されています「PCB（Poly Chlorinated Biphenyl＝ポリ塩化ビフェニル）廃棄物」を安全に保管する堅固な容器です（PCB保管箱）。

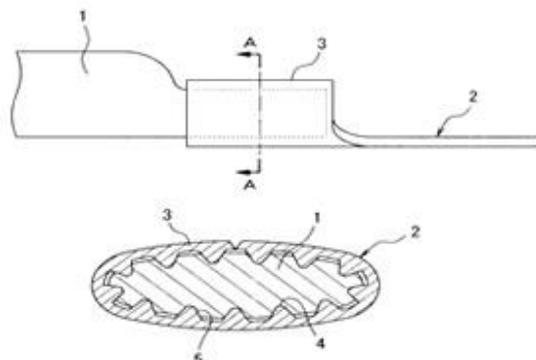


## ② アルミ電線用接続端子

近年電器業界や自動車業界では、銅価格上昇以外でも「製品重量の軽量化＝省エネ」を目的として銅電線のアルミ化を促進させる動きがあります。しかしアルミ電線の接続には大きな課題（電解腐食、酸化被膜、強度低下、応力緩和）があり実用化阻害の大きな要因となっています。弊社では、これらの課題を解決するアルミ電線用の接続端子技術を販売しております。



突起セレーション詳細図



### ③ ハイブリッド溶接機

ビルの鉄筋コンクリート構造とは、引張に強い鉄筋と圧縮に強いコンクリートを組合せたものですが、帯筋を溶接構造の閉鎖型にすることで耐震性を更に高めることができます。近年ビルの高層化に伴い鉄筋には高強度材が多く採用されるようになってきました。

弊社の溶接機は、複合溶接工程（ハイブリッド溶接）方式を採用することで、高強度材鉄筋を高性能（強い接合強度）、高信頼性（安定した品質）、そして経済的（短時間）に溶接することが出来る装置です。



【お電話でのお問合せ先】

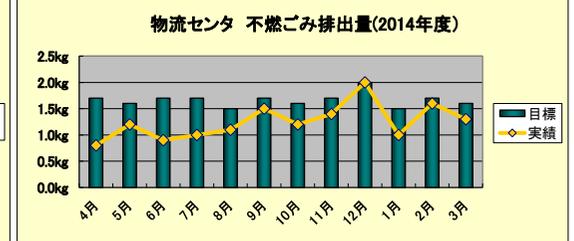
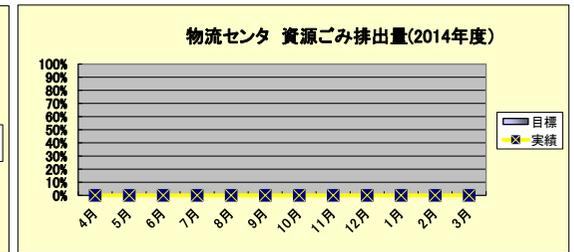
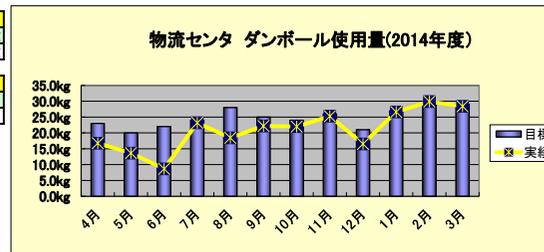
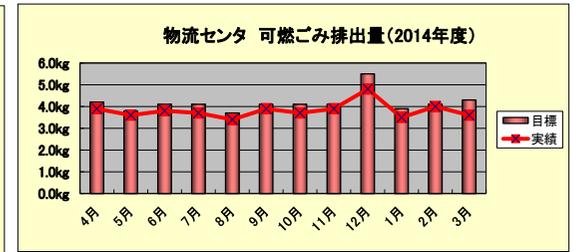
03-5958-9411（平日8:30～17:30）

- ① ホヅボックス（佐藤、石橋）
- ② アルミ電線用接続端子（賀川、森）
- ③ ハイブリッド溶接機（坂本、八代）

土・日・祝・時間外はWEBフォームからお問合せ下さい。

<http://www.hakusanshoji.co.jp/info/info.html>

消費電力		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		250kwh	195kwh	230kwh	290kwh	268kwh	290kwh	265kwh	265kwh	270kwh	300kwh	302kwh	275kwh	3200kwh
実績		248.0	190.0	227.0	245.0	237.0	264.0	271.0	238.0	260.0	211kwh	300kwh	256kwh	2947kwh
段ボール使用量		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		23.0kg	20.0kg	22.0kg	24.0kg	28.0kg	25.0kg	24.0kg	26.0kg	21.0kg	27.0kg	30.0kg	29.0kg	299.0kg
実績		16.79	13.64	8.66	23.21	18.46	22.23	22.00	25.31	16.55	26.66	29.91	28.45	251.9kg
節水		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	15.0
実績		0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	0.0	1.0	1.0	1.0	11.0
可燃ごみ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		4.2kg	3.8kg	4.1kg	4.1kg	3.7kg	4.1kg	4.1kg	4.1kg	5.5kg	3.9kg	4.1kg	4.3kg	50.0kg
実績		3.90	3.60	3.80	3.70	3.40	3.90	3.70	3.90	4.80	3.50	4.00	3.60	45.8kg
不燃ごみ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標		1.7kg	1.6kg	1.7kg	1.7kg	1.5kg	1.7kg	1.6kg	1.7kg	2.0kg	1.5kg	1.7kg	1.6kg	20.0kg
実績		0.80	1.20	0.90	1.00	1.10	1.50	1.20	1.40	2.00	1.00	1.60	1.30	15.0kg
資源ゴミ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標		0回												
実績		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0回



		消費電力												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		1500kwh	1500kwh	1700kwh	2100kwh	2500kwh	2100kwh	2100kwh	1700kwh	1700kwh	1700kwh	1800kwh	1800kwh	22,200kWh
実績		1,474kWh	1,556kWh	1,848kWh	2,272kWh	2,348kWh	1,980kWh	1755kWh	1146kWh	1153kwh	1,161kWh	1,090kWh	1230kwh	19,013kWh

		コピー用紙												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		5,000	5,000	5,000	5,000	3,000	4,000	4,000	4,000	5,000	4,000	4,000	5,000	53,000
実績		4,000	4,500	5,200	5,000	4,250	5,050	5,050	5,000	4,500	2,000	2,000	5,500	52,050

		環境配慮型商品販売												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	42,550
目標		3,500	3,500	4,000	4,000	4,000	4,200	4,300	4,400	4,500	4,500	4,600	4,500	50,000
実績		1,922	1,764	2,373	1,434	1,182	2,224	4,554	2,585	1,502	2,734	10,575	10,871	43,720

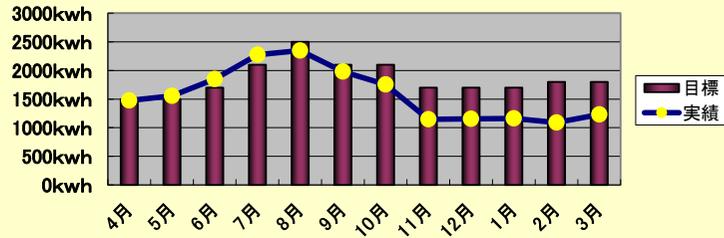
		不燃ごみ												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		1.00kg	1.00kg	1.00kg	1.00kg	2.20kg	1.00kg	1.00kg	1.00kg	2.20kg	1.00kg	1.00kg	1.00kg	14.40kg
実績		1.00kg	2.00kg	1.80kg	1.00kg	13.80kg								

		事務用品グリーン購入率												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%	70.5%
実績		46.3%	47.1%	15.2%	80.9%	79.2%	74.6%	92.6%	90.4%	80.3%	25.6%	55.7%	97.1%	74.6%

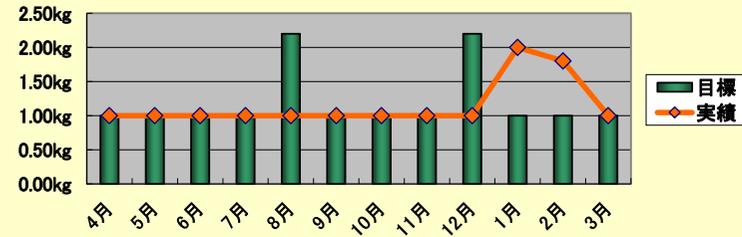
		可燃ごみ排出量												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	87%
目標		8.00kg	8.00kg	8.00kg	8.00kg	8.00kg	8.00kg	8.00kg	8.00kg	9.00kg	9.00kg	8.00kg	8.00kg	98.00kg
実績		8.00kg	7.00kg	8.00kg	7.00kg	9.00kg	8.00kg	8.00kg	8.00kg	9.00kg	9.00kg	8.00kg	8.00kg	97.00kg

		資源ゴミ												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	
実績		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

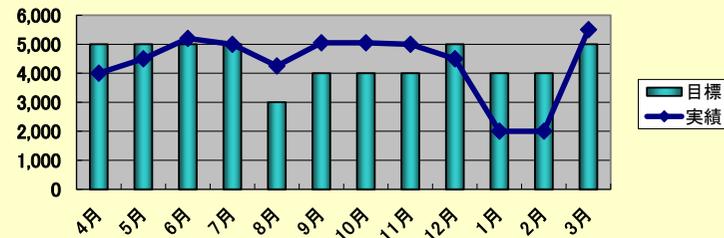
本社 電気使用量(2014年度)



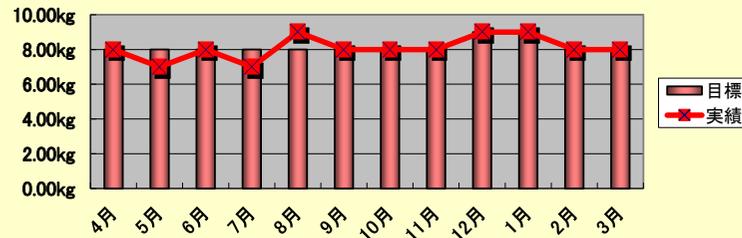
本社 不燃ごみ排出量(2014年度)



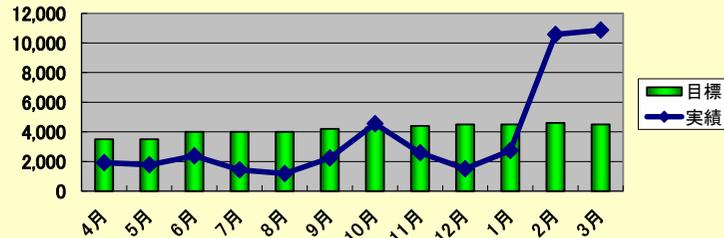
コピー用紙使用量(2014年度)



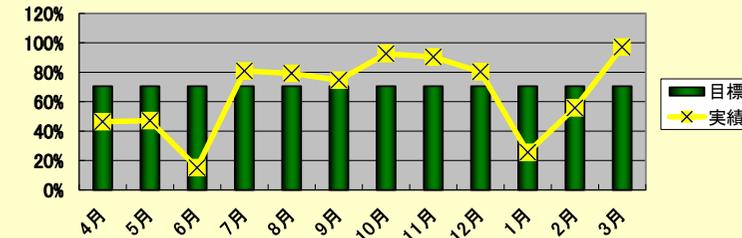
本社 可燃ごみ排出量(2014年度)



環境配慮型商品販売(2014年度)



事務用品グリーン購入比率(2014年度)



資源ゴミ(2014年度)

